

今月のトピックス

- ┆ RS ウイルス感染症が急激かつ大幅に増加しています。
- ┆ 腸管出血性大腸菌感染症の報告が続いています。
- ┆ 流行性耳下腺炎、流行性角結膜炎の報告が例年より多い状態が続いています。
- ┆ ヘルパンギーナの流行警報が解除されました。

全数把握の対象

【9 月期に報告された全数把握疾患】

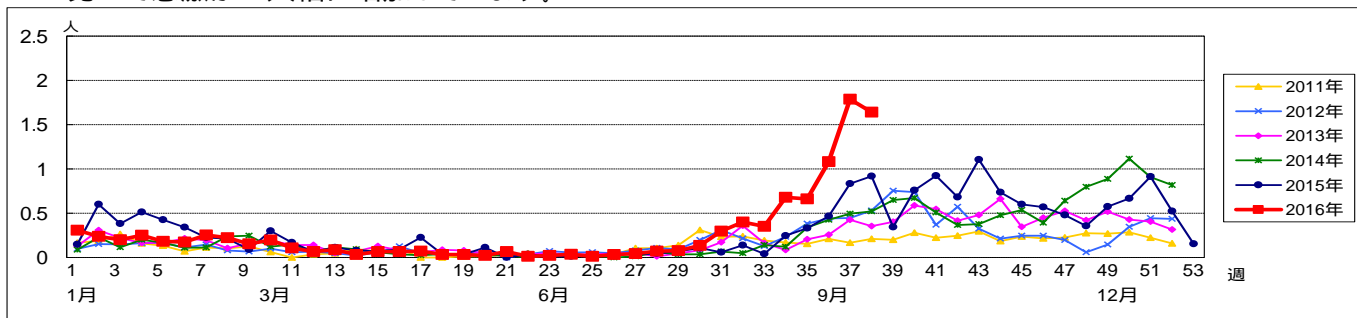
腸管出血性大腸菌感染症	23 件	急性脳炎	2 件
E 型肝炎	1 件	クリプトスポリジウム症	1 件
A 型肝炎	2 件	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 件
デング熱	1 件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 件
レジオネラ症	6 件	後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症含む)	7 件
アメーバ赤痢	8 件	侵襲性肺炎球菌感染症	5 件
ウイルス性肝炎 (E 型および A 型を除く)	1 件	梅毒	18 件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7 件	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 件

- 1 **腸管出血性大腸菌感染症**: 23 件の報告のうち (9 件は無症状病原体保有者)、O157 が 20 件、O121 が 2 件、O 不明が 1 件で、家族内発生事例も報告されています。2 次感染予防には手洗いが重要です。さらに、下痢症状のある人は専用のタオルを使うなど、他の人と使うタオルを別にしましょう。トイレは常に清潔に掃除し、ドアノブ・水洗レバー・電気のスイッチなど手の触れるところは、特に念入りにきれいにしましょう。
- 2 **E 型肝炎**: 1 件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 3 **A 型肝炎**: 2 件の経口感染の報告があり、1 件が国内、1 件がバングラデシュでの感染と推定されています。
- 4 **デング熱**: 1 件の報告があり、インドでの感染と推定されています。
- 5 **レジオネラ症**: 6 件の肺炎型の報告があり、いずれも感染経路等不明でした。
- 6 **アメーバ赤痢**: 8 件の報告があり、1 件は国内での異性間の性的接触、2 件が国内での経口感染が推定され、5 件は感染経路等不明でした。
- 7 **ウイルス性肝炎 (E 型および A 型を除く)**: B 型の報告が 1 件あり、感染経路等不明でした。ワクチン接種歴は確認できませんでした。
- 8 **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**: 7 件の報告があり、うち 2 件は手術部位感染、1 件は医療器具等関連感染、2 件は以前からの保菌と推定され、2 件は感染経路等不明でした。
- 9 **急性脳炎**: 2 件の幼児の報告がありました。
- 10 **クリプトスポリジウム症**: 1 件の報告があり、動物からの感染が推定されています。
- 11 **クロイツフェルト・ヤコブ病**: 家族性 CJD の報告が 1 件ありました。
- 12 **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**: B 群が 1 件、G 群が 1 件報告され、創傷感染が推定されています。
- 13 **後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む)**: 7 件の報告があり、うち 3 件が AIDS、3 件が無症状病原体保有者、その他が 1 件でした。感染経路は、同性間の性的接触が 4 件、異性間の性的接触が 2 件、感染経路等不明が 1 件でした。
- 14 **侵襲性肺炎球菌感染症**: 5 件の報告があり、いずれもワクチン接種歴は確認できませんでした。
- 15 **梅毒**: 18 件の報告 (無症状病原体保有者 7 件、早期顕症梅毒 期 9 件、早期顕症梅毒 期 2 件) がありました。感染経路は、性的接触が 17 件 (異性間 12 件、詳細不明 5 件)、感染経路等不明が 1 件でした。
- 16 **バンコマイシン耐性腸球菌感染症**: 1 件の報告があり、感染経路等不明です。

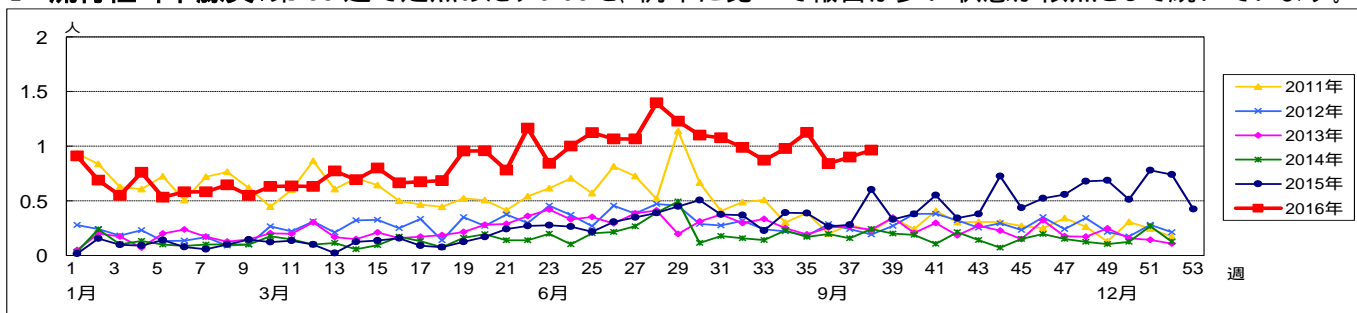
定点把握の対象

平成 28 年 週 - 月日対照表	
第 34 週	8 月 22 日 ~ 28 日
第 35 週	8 月 29 日 ~ 9 月 4 日
第 36 週	9 月 5 日 ~ 11 日
第 37 週	9 月 12 日 ~ 18 日
第 38 週	9 月 19 日 ~ 25 日

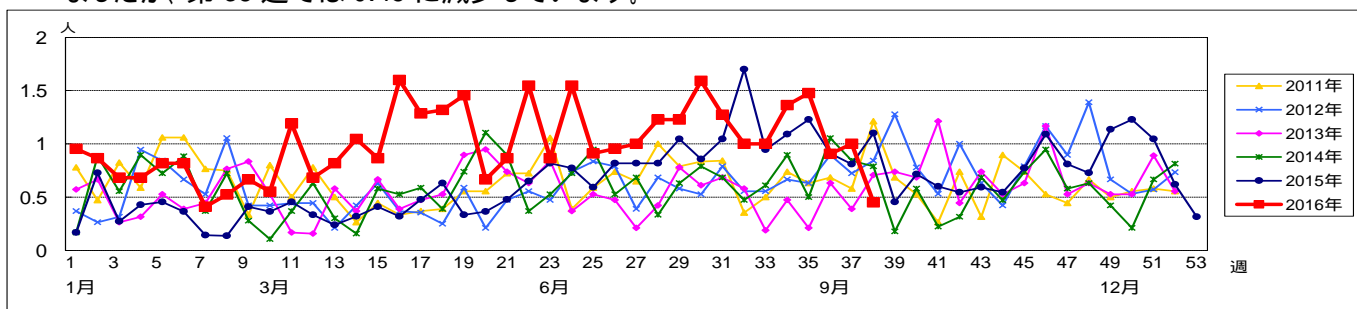
- 1 RSウイルス感染症:第37週で定点あたり1.79、第38週で1.64と、例年に比べて急激かつ大幅に増加しています。



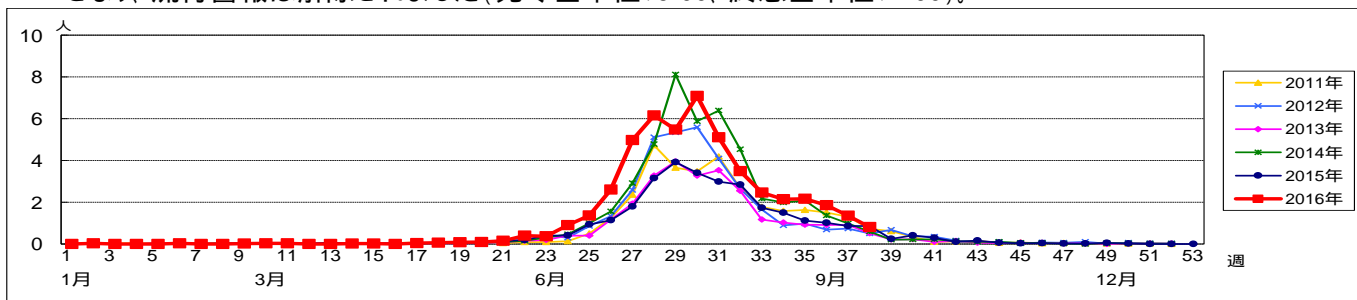
- 2 流行性耳下腺炎:第38週で定点あたり0.96と、例年に比べて報告が多い状態が依然として続いています。



- 3 流行性角結膜炎:第36週で定点あたり0.90、第37週で1.00と、例年に比べて報告が多い状態が続いていましたが、第38週では0.45に減少しています。



- 4 ヘルパンギーナ:第28週にて市全体で定点あたり6.15となり、流行警報が発令されましたが、第36週に1.85となり、流行警報は解除されました(発令基準値:6.00、終息基準値:2.00)。



- 5 性感染症:8月は、性器クラミジア感染症は男性が21件、女性が10件でした。性器ヘルペス感染症は男性が8件、女性が6件です。尖圭コンジローマは男性7件、女性が5件でした。淋菌感染症は男性が16件、女性が1件でした。
- 6 基幹定点週報:マイコプラズマ肺炎は第34週1.00、第35週1.33、第36週2.33、第37週0.33、第38週0.50と報告されています。細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、クラミジア肺炎、感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)の報告はありませんでした。
- 7 基幹定点月報:8月はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症13件、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症1件で、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありませんでした。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。
 横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>